

株式会社リンクアンドモチベーション

2015年12月期 決算説明会



ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする

Link and Motivation Group



1. 不適切会計における再発防止策完了のお知らせ
2. 2015年12月期 連結決算報告
3. 2016年12月期 計画
4. Topics

1

不適切会計における 再発防止策完了のお知らせ

特別調査・検証委員会からの提言に基づき、再発防止策を実施

- 決裁プロセスの改善、購買プロセスの改善、牽制機能強化

⇒再構築した新プロセスでの運用を開始

完了

- コンプライアンス意識の改善

⇒グループ全社員への研修を10月初旬に実施

⇒11月中旬より更に充実した内容の研修を実施

完了

- 内部監査の強化・拡充

⇒内部統制の有効性評価範囲を拡大

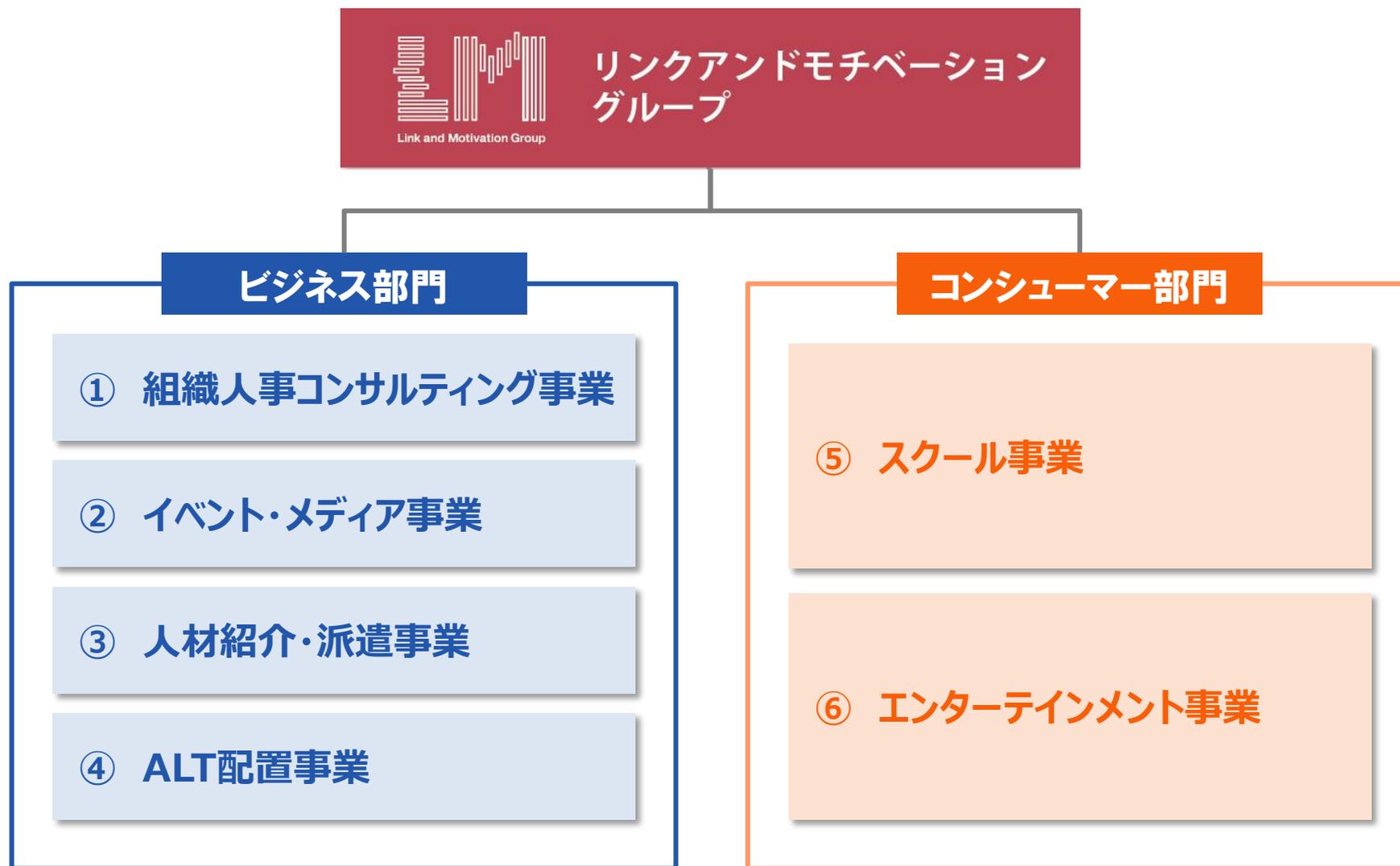
完了

2

2015年12月期 連結決算報告



リンクアンドモチベーショングループ事業構造



事業構造の概要

LM-G

ビジネス部門

① 組織人事コンサルティング事業

社員のモチベーションに着目した組織人事コンサルティング
⇒組織診断、育成研修、人事制度構築、採用コンサルティングなどを提供

② イベント・メディア事業

組織のコミュニケーションに着目したイベント企画運営・メディア制作
⇒周年イベント、採用イベント、PR・IRツール、動画配信などを提供

③ 人材紹介・派遣事業

企業の人材ニーズに対応した人材紹介・派遣
⇒新卒・中途採用の人材紹介、販売職や事務職の人材派遣などを提供

④ ALT配置事業

学校法人の教員ニーズに対応したALTの配置
⇒全国の小・中学校などへのALTの派遣・請負を提供

コンシューマー部門

⑤ スクール事業

“アイ・カンパニーを育む”をコンセプトにしたスクール運営
⇒PCスクール「AVIVA」、資格スクール「DAIEI」等のキャリアスクール運営、
学習塾「モチベーションアカデミア」の運営

⑥ エンターテインメント事業

個人の“生きがい創出”をコンセプトにしたエンターテインメントの提供
⇒バスケットボール球団「リンク栃木ブレックス」の運営、
レストラン「リンクダイニング」の運営

連結損益計算書（実績 計画比・前年比）

単位(百万円)	2014年 実績	2015年 計画	2015年 実績	計画比	前年比
売上高	28,873	31,800	31,950	+0.5%	+10.7%
営業利益	1,751	1,050	868	-17.3%	-50.5%
経常利益	1,665	1,000	767	-23.3%	-53.9%
当期利益	950	680	-316	-	-

- インタラックの連結範囲加入により、**売上高は計画比で微増、前年比で大幅増**
- 一方、ビジネス部門の原価率上昇や、不適切会計事案対応等による販売管理費増加により、**営業利益は計画比・前年比共に大幅減**
- グループ各社の利益バランスが想定以上に税金がかかる方向に着地したこと、業績推移が芳しくないインキュベーション先複数社において、現在価値切り下げを積極的に行ったこと、また税金の戻りを純利益に見込む権利を来年度に持ち越したことで、**当期利益はマイナス**

連結損益計算書 販売管理費（実績 前年比）

単位(百万円)	2014年 実績	2015年 実績	前年比 増減
人件費	3,780	4,298	13.7%
採用・研修・福利厚生費	390	516	32.3%
地代家賃	619	674	8.9%
オフィス・システム経費	790	1,031	30.5%
販売関連費用	1,626	1,765	8.5%
交通費等 その他費用	721	788	9.3%
のれん償却費	675	733	8.6%
不適切会計事案対応費用	-	212	-
販売管理費 合計	8,604	10,021	16.5%

- (株)インタラックの加入により、全体的に前年比で増加（影響額：678百万円）
- グループ内の事業シナジー促進を企図した、統合拠点設立や、基幹システムの刷新により、地代家賃、オフィス・システム経費が増加（影響額：214百万円）
- 不適切会計事案対応により、監査報酬等の費用を一時的に計上（影響額：212百万円）
- 事業規模拡大に伴う人員増加により、人件費が増加（影響額：128百万円）

セグメント別 売上高・売上総利益（実績 前年比）

単位(百万円) ※<>内は売上総利益		2014年 実績	2015年 実績	前年比
ビジネス部門	売上高	21,532	25,096	+16.6%
	売上総利益	<7,826>	<8,187>	+4.6%
コンシューマー部門	売上高	8,429	7,840	-7.0%
	売上総利益	<3,031>	<3,052>	+0.7%

- ビジネス部門は、(株)インタラックの連結範囲加入が寄与し、**売上高は前年比で大幅増、売上総利益は前年比で増加**
- コンシューマー部門は、スクール事業の不採算拠点統廃合の影響で、**売上高は前年比で減少**
一方、収益構造の改善が進み、**売上総利益は前年比で微増**

ビジネス部門 事業別 プロダクト売上高（実績 前年比）

（単位：百万円） ※<>内は売上総利益	2014年 実績	2015年 実績	前年比
① 組織人事コンサルティング事業	6,077 <3,500>	6,480 <3,413>	+6.6% -2.5%
パッケージ	2,280	2,226	-2.4%
コンサルティング	2,732	2,766	+1.2%
アウトソーシング ※	494	915	+85.2%
データベース	430	415	-3.5%
会員サービス	142	156	+9.9%
② イベント・メディア事業	2,965 <1,097>	3,280 <922>	+10.6% -15.9%
イベント制作	2,142	2,236	+4.4%
メディア制作	823	1,044	+26.8%

（単位：百万円） ※<>内は売上総利益	2014年 実績	2015年 実績	前年比
③ 人材紹介・派遣事業	7,491 <1,838>	7,503 <1,792>	+0.2% -2.5%
販売職派遣	5,905	5,978	+1.2%
営業職派遣	161	139	-13.7%
事務職派遣	233	604	+159.2%
営業請負 ※	652	227	-65.2%
新卒動員・紹介	481	487	+1.2%
中途紹介	59	64	+8.5%
④ ALT配置事業 ※	6,957 <1,788>	9,820 <2,623>	+41.1% +46.7%

※ ALT…Assistant Language Teacherの略で、小・中学校の外国語指導助手のこと。

※③の営業請負は2015年度第2四半期より、①のアウトソーシングに実績を計上

- ①組織人事コンサルティング事業は、営業・採用ニーズを捉え、**売上高は前年比増**
一方で、採用領域の外注原価増加のため、**売上総利益は前年比微減**
- ②イベント・メディア事業は、映像・紙メディア活用のニーズを捉え、**売上高は前年比大幅増**
一方で、採用領域の外注原価増加のため、**売上総利益は大幅減**
- ③人材紹介・派遣事業は、企業の人員増のニーズを捉え、**売上高は微増**
一方、人材調達コストの高止まりのため、**売上総利益は前年比微減**
- ④ALT配置事業は、講師数が順調に増加し、**売上高・売上総利益共に堅調に推移**

コンシューマー部門 事業別 プロダクト売上高（実績 前年比）

(単位:百万円)	2014年		2015年		前年比
	実績	構成比	実績	構成比	
⑤ スクール事業	7,773 <2,729>	-	7,114 <2,732>	-	-8.5% +0.1%
PC	4,018	52%	3,618	51%	-9.9%
公務員	795	10%	903	13%	+13.6%
会計	667	9%	562	8%	-15.7%
国家試験	470	6%	506	7%	+7.7%
法人研修等	1,109	14%	977	14%	-11.9%
教材等販売	404	5%	327	5%	-19.1%
検定等販売	65	1%	81	1%	+25.4%
学習塾	242	3%	136	2%	-43.8%
⑥ エンターテインメント事業	690 <315>	-	768 <339>	-	+11.3% +7.6%

- スクール事業は、不採算拠点統廃合（128校→108校）により、**売上高は前年比で減少**
収益構造の改善が進むも、**売上総利益はほぼ横ばい**
- 拠点統廃合の影響で売上高が減少する中、公務員講座と国家試験講座は堅調に推移し、**前年比大幅増**
- 学習塾に関しては、柏校の戦略的撤退が影響し**前年比大幅減**（既存校においては、前年比22.1%増）
- エンターテインメント事業は、“リンク栃木ブックス”の成績好調により、
チケット収入やスポンサー収入が増え、**売上高は前年比大幅増、売上総利益は増加**

連結貸借対照表（実績 前年比）

（単位：百万円）	2014年末	2015年末	当期増減
流動資産	6,198	5,851	▲ 347
固定資産	11,687	11,616	▲ 71
繰延資産	10	6	▲ 4
資産合計	17,896	17,474	▲ 422
流動負債	7,785	8,866	▲ 1,081
固定負債	3,276	2,575	▲ 701
純資産	6,834	6,032	▲ 802
負債・純資産合計	17,896	17,474	▲ 422

- 納税に伴う資金需要により短期借入金が増加したため、**流動負債が大幅に増加**
- 長期借入金の定期返済により、**固定負債が順調に減少**
- 純資産の減少により**自己資本比率が34.5%へ減少**

● 2015年12月期 配当方針

- ・四半期配当の実施

● 2015年12月期 第4四半期 配当予定

- ・当初予定通り110円の配当を3月25日(金)に実施予定

	第1四半期 配当実績	第2四半期 配当実績	第3四半期 配当実績	第4四半期 配当予定
単元株当たり 配当額	110円	110円	110円	110円

3

2016年12月期 計画



2016年度12月期 連結損益計画

単位:百万円	2015年	2016年	前年比
	実績	計画	
売上高	31,950	33,600	+5.2%
営業利益	868	1,620	+86.6%
経常利益	759	1,570	+106.9%
当期利益	-302	750	-

- 売上高は前年比増、営業利益以下、前年比大幅増を計画
- 利益率の高いビジネス部門の伸びが見込めていることが大きな要因。
その他、外注費の圧縮などコスト削減を進行中
- 財務報告の国際的な比較可能性の向上を目的に国際会計基準(IFRS)の導入を検討中
- IFRSを導入した場合、最も影響が大きいのは「のれん償却費」
※2016年「のれん償却前営業利益」は2,350百万円

2016年度12月期 セグメント別 売上高・売上総利益の計画

単位(百万円) ※<>内は売上総利益		2015年 実績	2016年 計画	前年比
ビジネス部門	売上高	25,096	26,500	+5.6%
	売上総利益	<8,187>	<8,700>	+6.3%
コンシューマー部門	売上高	7,840	7,500	-4.3%
	売上総利益	<3,052>	<3,000>	-1.7%

- ビジネス部門は売上高・売上総利益共に、**前年比増**を計画
- コンシューマー部門は売上高・売上総利益共に**前年比微減**を計画

2016年度12月期 ビジネス部門 売上高・売上総利益の計画

(単位:百万円) ※<>内は売上総利益		2015年 実績	2016年 計画	前年比
※	① 組織人事 コンサルティング事業	6,480 <3,413>	7,700 <4,000>	+18.8% +17.2%
	② イベント・メディア事業	3,280 <922>	3,500 <1,000>	+6.7% +8.3%
※	③ 人材紹介・派遣事業	7,503 <1,792>	8,000 <1,900>	+6.6% +6.0%
	④ ALT配置事業	9,820 <2,623>	10,300 <2,800>	+4.9% +6.7%

※(株)リンク・リレーション・エンジニアリングの設立に伴い、営業請負サービスを人材紹介・派遣事業から組織人事コンサルティング事業に移管

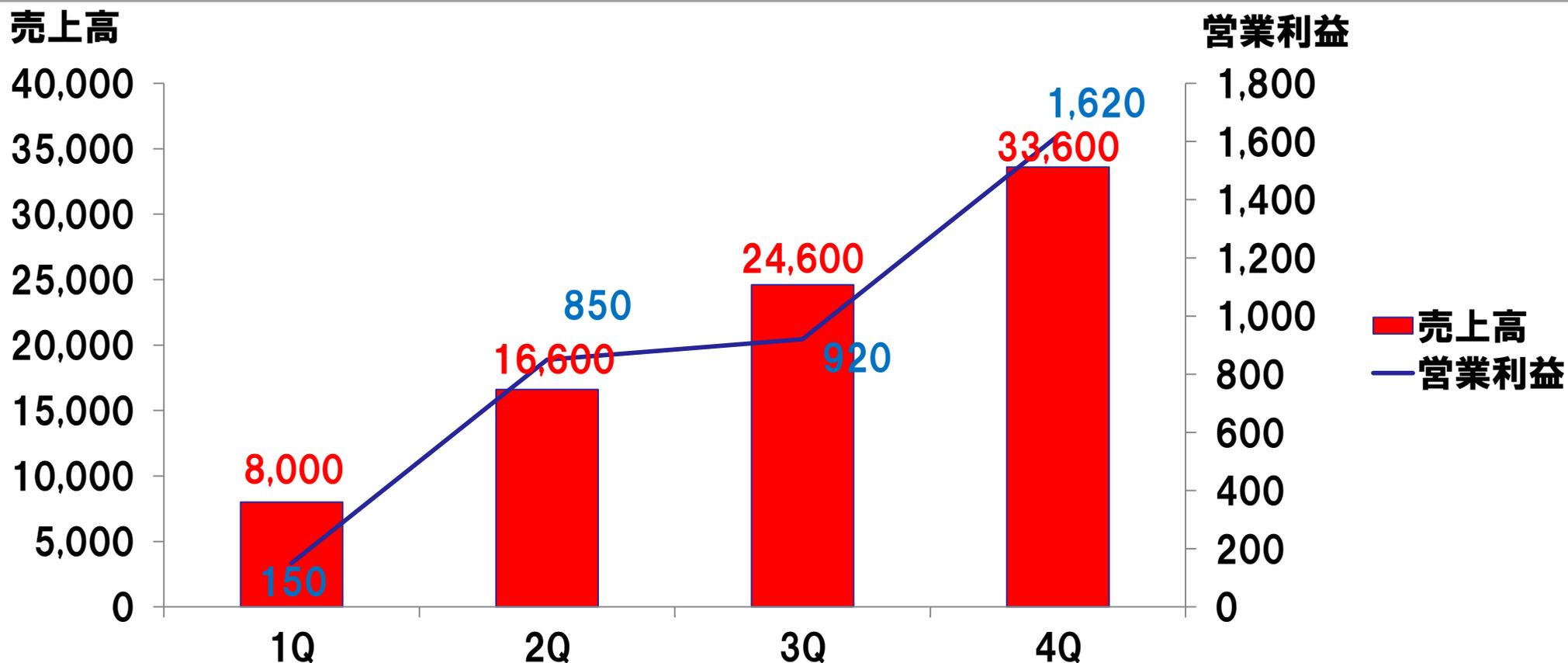
- 「①組織人事コンサルティング事業」が売上高・売上総利益共に**前年比大幅増**を計画。
大手企業へのコンサルティングが既に好調。加えて新サービスもリリースしていく
- 「②イベント・メディア事業」は売上高・売上総利益共に**前年比増**を計画。
大手企業に対するイベント制作・メディア制作を伸張させていく
- 「③人材紹介・派遣事業」は売上高・売上総利益共に**前年比増**を計画。
企業の人材不足に対応していく
- 「④ALT配置事業」は売上高・売上総利益共に**前年比増**を計画。
日本の「グローバル人材育成」の流れの中で、堅調な伸びを計画

2016年度12月期 コンシューマー部門 売上高・売上総利益の計画

(単位:百万円) ※<>内は売上総利益		2015年 実績	2016年 実績	前年比
⑤	スクール事業	7,114	6,800	-4.4%
		<2,731>	<2,700>	-1.1%
⑥	エンターテインメント事業	768	780	+1.4%
		<339>	<340>	+0.3%

- 「⑤スクール事業」は売上高・売上総利益共に**前年比減**を計画。
「AVIVA-PRO」を中心とした「学び」と「働く」の接続強化を継続しつつ、利益率向上に努める
- 「⑥エンターテインメント事業」は売上高・売上総利益共に**前年比微増**を計画

2016年度12月期 連結売上高・営業利益の推移計画



- 売上高は、四半期毎に堅調な伸びを計画
- 営業利益は、第2四半期・第4四半期で大きく伸びる計画。利益率の高い「組織人事コンサルティング事業」における「人材採用・育成」サービスが大きく伸びる予定

4

Topics



- 2016年12月期より、前期比15円増の増配を予定
 - ・単元株当たり : 110円⇒125円
 - ・年間配当 : 440円⇒500円

	第1四半期 配当予定	第2四半期 配当予定	第3四半期 配当予定	第4四半期 配当予定
単元株当たり 配当額	125円	125円	125円	125円
単元株式数	100株	100株	100株	100株

【社外取締役候補者の選任】 ※（2016年3月30日開催の株主総会にて決定予定）

（株）プロノバ代表取締役社長 岡島 悦子氏

【略歴】

1989年 筑波大学国際関係学類卒業
1989年 三菱商事株式会社入社
2000年 米国ハーバード大学経営大学院修士課程修了(MBA)
2001年 マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク入社
2002年 株式会社グロービス・マネジメント・バンク 入社
2005年 株式会社グロービス・マネジメント・バンク 代表取締役
2007年 株式会社プロノバ設立、代表取締役

【現役職】

株式会社プロノバ 代表取締役社長

グロービス経営大学院 教授

アステラス製薬株式会社 社外取締役

株式会社丸井グループ 社外取締役

ランサーズ株式会社 社外取締役

株式会社セプテーニ・ホールディングス 社外取締役



株式会社アカツキ

- 創業 : 2010年
- 代表者 : 代表取締役CEO 塩田元規
取締役COO 香田哲朗
- 社員数 : 65名 (2015年12月末時点)
- 資本金 : 14億86万円
- 社会ビジョン : 『感情を報酬に発展する社会』
- ミッション : 『ゲームの力で世界に幸せを』
- 事業内容 : スマートフォンサービスの企画開発
ソーシャルアプリの企画開発



- (株)アカツキ以外の12社についても引き続き、資金面に加えて組織面でサポートしていく

株式会社リンクアンドモチベーション

2015年12月期 決算説明会



ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする

Link and Motivation Group

